

社会福祉法人神港園

さん舞子神港園 / 兵庫県神戸市

神港園の理念であり、私たちの活動の原点は「自分がしてほしいと思うことをひとにしてさしあげましょう」という黄金律です。いつどんな時でも「今こうして欲しい」と思ったことをしてもらえる安心感。そのような暮らしの実現に向けて、日々質の高いサービスの提供に努めています。

さん舞子神港園では事業目標として「自己決定を尊重した笑顔の発信地舞子」を掲げています。計画停電の訓練では発電機が稼働し、冷暖房が効いて電灯やテレビがつき、包括的継続的支援の実践を地域に向け発信する中で、本当に安心できる施設環境整備ができたことは大きな地域貢献だと思えます。



外観

補助事業の概要

- 導入設備: 停電対応型GHP 56kW×4台
標準型GHP 28kW×1台、56kW×1台
- 補助金額: 5,611千円(補助率1/3)
- 災害時の設備用途: [発電] B1Fホールへ給電(コンセント利用)、
1F・2F・3Fリビング・ダイニング(コンセント利用)
[空調] 1F・2F・3Fリビング・ダイニング

対象施設	避難所面積	供給方式
福祉避難所	1,167㎡	低圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

社会福祉法人神港園 さん舞子神港園 高屋 純子 様

使用中の空調機の更新が必要な時期が来ており、電気及びガス会社から複数の提案を受けました。福祉避難所の指定も受けている点、当施設の入居者の安全確保と両方の観点から、停電時に稼働し更に余剰の電力も活用できることは非常に大きなメリットでした。

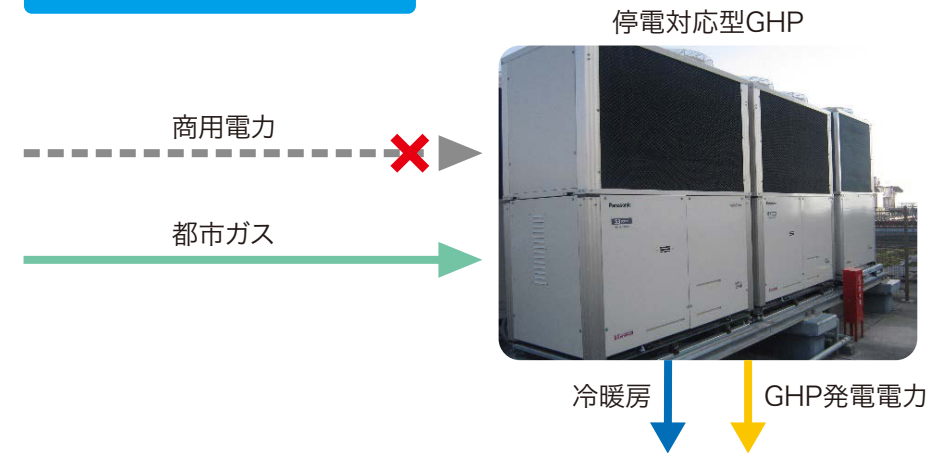
地域の中で長年活動させていただき中、地域ボランティアの方、近隣の方や自治会の方との交流も多く、地域貢献の1つとして施設を開放しご利用いただいていたこともあり、互助、共助を更に進めていきたいと考えていました。また、当施設の管轄自治体では老人福祉施設連盟を通じ行政との繋がりもあり、社会福祉法人としての社会貢献事業の1つと考えておりました。

補助金導入以前より、当施設の管轄自治体では老人福祉施設連盟を通じ福祉避難所として登録をしていましたが、実際に災害が発生した場合受け入れるための設備が不十分であるという認識がありました。今回の補助金活用により、空調や予備電力が活用できることはこれまでの不安材料が解消でき大きく前進し、また、補助金を活用させていただくことでコスト面の問題も同時に解消できるメリットがあり導入に至りました。

神戸淡路大震災の経験から都市ガスの地震への耐久性には若干不安がありましたが、反対に大震災後のガス管の耐震性強化や導入事例の紹介を知り、信頼性と実績に安心感を覚えました。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



避難スペース(一例)

1Fリビング・ダイニング



2Fリビング・ダイニング



3Fリビング



など

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調



コンセント

協定概要

神戸市とは「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」に基づき、災害時の福祉避難所として指定されています(令和3年3月)。災害時には施設の1~3階のリビング・ダイニングの空調、コンセントが継続利用できる計画となっています。